取扱説明書

GFT-C11ARS-AWQ
GFT-C11BRS-AWQ

1104938 11010
1104938 11198

01

1. 本体取扱説明書

保証書

品　名	貯湯ユニット GFT-C11ARS-AWQ GFT-C11BRS-AWQ
型式名	SG-GTH2404AD

上記本体をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書は、東京ガス供給区域内において、都市ガスにてご使用になる場合に、本書記載内容で無料修理をお約束するものです。

記

1. 保証期間は、お引き渡し日から2年間とし、本体(リモコン含む)を対象にします。なお、下記部品については、別途以下の年数を保証いたします。
   ポンプ・ファンモーター……………………………………3年
   電装基板・リモコン(電装基板に起因する故障のみ)・貯湯タンク………5年
   熱交換器……………………………………………………5年
2. 万一故障の場合は、お買い上げの販売店または、もよりの東京ガスへお申し出ください。原則として、出張修理いたします。
3. サービス員がお伺いした時に、本証書をご提示下さい。
4. 保証期間内においても、次の場合は有償修理といたします。
   (1) 住宅用途以外でご使用になる場合の不具合
   (2) 取扱説明書等の記載事項によらないでご使用した場合の不具合
   (3) 器具を調整、改造された場合の不具合(但し、当社都合の場合はのぞきます)
   (4) お引き渡し後、取付場所の移動、落下等による不具合
   (5) 建築躯体の変形等器具本体以外に起因する当該器具の不具合、塗装の色あせ等の経年変化またはご使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象
   (6) 強い腐食性の空気環境に起因する不具合
   (7) 犬、猫、ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合
   (8) 火災や凍結、落雷、地震、噴火、洪水、津波等の天変地異または戦争、暴動等の破壊行為による不具合
   (9) 電気、給水の供給トラブル等に起因する不具合
   (10) 指定規格以外のガス、電気または熱媒等をご使用したことに起因する不具合
   (11) 給水・給湯配管などの錆び等異物流入に起因する不具合
   (12) 温泉水、井戸水等を給水したことに起因する不具合
   (13) 本保証書を紛失された場合
5. 無料修理やアフターサービス等についてご不明な場合はお買い上げの販売店または、もよりの東京ガスへお問い合わせ下さい。

保証履行者　東京ガス株式会社　〒105-8527　東京都港区海岸1丁目5番20号
保証責任者　株式会社ノーリツ　〒650-0033　神戸市中央区江戸町93番地
■ お引き渡し日および販売店名

お引き渡し日	平成　　年　　月　　日		
販売店		扱者印	
住所			
電話番号			

■ 修理記録
この本体の修理記録用紙は、本体の内側にあります。

■ お客さまへ
1. この保証書をお受け取りになる時にお引き渡し日、販売店、扱者印が記入してあることを確認してください。
2. 本証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保存してください。
3. 無料修理期間経過後の故障修理等につきましては「アフターサービス」の項をご覧ください。
4. この保証書によって保証書を発行している者(保証履行者・保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。

◆この取扱説明書は再生紙を使用しています◆

TOKYO GAS

貯湯ユニット
取扱説明書(保証書付)
機器本体説明編

品名	機器コード
GFT-C11ARS-AWQ	11-049-38-11010
GFT-C11BRS-AWQ	11-049-38-11198

SBA8662

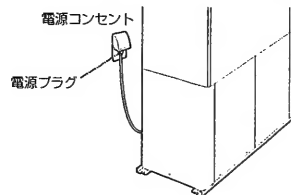
この取扱説明書の見かた

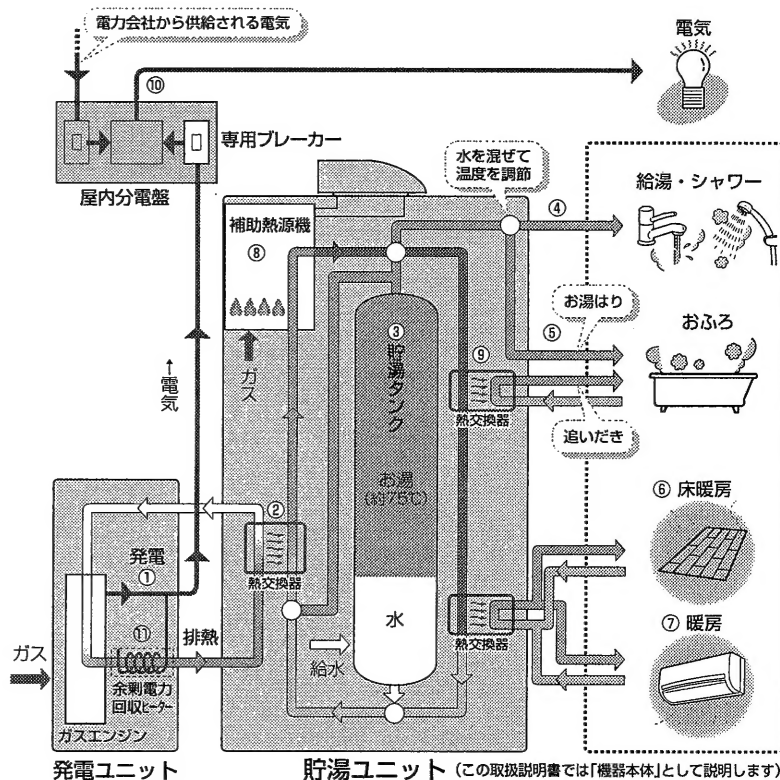
このたびは貯湯ユニットをお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
＊この取扱説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。
＊保証書(裏表紙)は必ずお引き渡し日・販売店名などの記入を確かめてください。
＊この取扱説明書(保証書付)は、リモコン操作説明編・発電ユニットの取扱説明書と併せて、いつでもご覧になれるところに保管してください。

この取扱説明書は貯湯ユニットに関する内容のみ記載しています

＊リモコンの操作については、リモコン操作説明編の取扱説明書で説明していますので、併せてお読みください。
＊発電ユニットの取扱説明書も併せてお読みください。
＊別売品の取扱説明書がある場合は、必ずそちらも併せてお読みください。

電源コンセントから電源を供給されている場合

通常は、専用ブレーカーから機器本体の電源を供給されていますが、設置状況によっては電源コンセントから供給されている場合があります。
その場合は、『専用ブレーカーを「切(入)」にする』と記載してある箇所を『電源プラグを抜く(差し込む)』と読みかえておこなってください。

もくじ

エコウィルのしくみ

＊ガスでエンジンを動かして発電し(①)、発電時に発生した熱(排熱)を利用してお湯(水)をあたため(②)、あたたまったお湯(約75℃)を貯湯タンクに貯えます(③)。
貯湯タンクに貯えたお湯は、給湯(④)やおふろのお湯はり(⑤)、床暖房(⑥)に使用します。
また、床暖房(⑥)や床暖房以外の暖房(⑦)は発電時に発生した熱(排熱)と補助熱源機(⑧)も利用し、おふろの追いだき(⑨)は補助熱源機を利用※します。
(タンクのお湯が足りないときは、補助熱源機(⑧)でお湯を沸かして供給します)
(タンク内がすべてお湯になると、発電ユニットの排熱を利用できなくなるため、発電はしません)
＊発電ユニットで発電した電気は、ご家庭の電力として使用します(⑩)。
＊日々の電気やお湯の使用状況を学習し、自動的に発電ユニットを運転します。
＊発電した電気が余った場合は、余剰電力回収ヒーターに利用して(⑪)お湯をあたためます。
※おふろの追いだきに貯湯タンクのお湯を利用するよう設定することもできます。(☞リモコン操作説明編の取扱説明書)

取扱説明書
GFT-C11ARS-AWQ
GFT-C11BRS-AWQ
110493811010
110493811198
01

必ずお守りください(安全上の注意)-1

リモコン操作説明編の取扱説明書の内容も併せてお読みください。

お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容を示しています。

⚠危険

ガス漏れに気づいたときは、 必ずおこなう

1. すぐに使用をやめる
2. ガス栓を閉める
また、メーターのガス栓も閉める
3. 販売店または、もよりの東京ガスに連絡する

ガス漏れ時は、絶対に 火気禁止

- 火をつけない
- 電気器具のスイッチの入・切をしない
- 電源プラグの抜き差しをしない
- 周辺の電話も使用しない

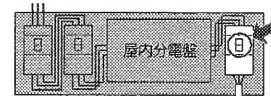
火や火花で引火し、火災の原因になります。

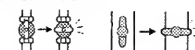
屋内に設置しない 禁止

一酸化炭素中毒の原因になります。

⚠警告

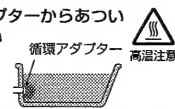
地震、火災などの緊急の場合は、次の手順に従う 必ずおこなう

1. 給湯栓を閉める
2. 給湯スイッチを「切」にする
3. 専用ブレーカーを「切」にする

※専用ブレーカーは各家庭によって設置状態が異なります。

4. ガス栓・給水元栓を閉める

点火しない場合または、使用中に異常な臭気、異常音、異常な温度を感じた場合や、使用途中で消火する場合は、ただちに使用を中止しガス栓を閉める

使用中に異常があった場合は、「故障・異常かな?と思ったら」(☞P23~27)に従い処置をする

上記の処置をしても直らない場合は、使用を中止し、販売店に連絡する

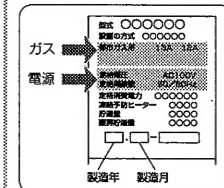
追いだき中は、循環アダプターからあついお湯が出るのでさわらない 高温注意

やけど予防のため。

太陽熱温水器とは絶対に接続しない 禁止

お湯の温度制御ができなくなり、やけどや機器の故障の原因になります。

シャワー使用時は、使用者以外温度を変えない、給湯スイッチ「切」にしない、リモコンの「優先」を切り替えない 禁止

高温に変更されたときのやけど予防のため。
また、低温に変更したり、給湯スイッチ「切」にすると、冷水になって使用者が驚く原因になります。

必ず銘板に表示のガス・電源で使用する 必ずおこなう

表示のガス種および電源が一致しないと、不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発点火でやけどしたり、機器が故障する場合があります。
特に転居した場合は、必ずガスの種類(電源の種類)が一致しているかどうか確認してください。わからない場合は、販売店または、もよりの東京ガスに連絡してください。

シャワーなどお湯の使用時は、リモコンに表示の温度をよく確かめ、手で湯温を確認してから使用する 高温注意

60℃の高温で使ったあと、あらためて使用するときは特に注意してください。
やけど予防のため。

この機器は貯湯式のため、給湯スイッチが「切」でもあついお湯が出ることがあります

シャワーやお湯の使用中にお湯の温度が上がってきたら、すぐにお湯から離れる

貯湯タンクのお湯の温度が高いときに、停電したり専用ブレーカーが落ちたりした場合、高温のお湯が出る可能性があります。

浴槽の湯温を手で確認してから入浴する

やけど予防のため。

暖房使用中や発電中にふろの凍結予防(ポンプ自動運転)がはたらいた場合、浴槽の循環アダプターからあついお湯が出ることがあります

(つづく)

まずはじめに

必ずお守りください(安全上の注意)-2

(つづき)

⚠警告

子供を浴室内で遊ばせない
子供だけで入浴させない

禁止

思わぬ事故の原因になります。

【電源プラグがある場合】

電源プラグはぬれた手でさわらない

感電の原因になります。

ぬれ手禁止
感電注意

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不充分だと、感電や火災の原因になります。

必ずおこなう

電源プラグのホコリは定期的に取る

ホコリがたまると、火災の原因になります。
電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

必ずおこなう

電源コード、電源プラグの破損・加工をしない
束ねたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、物を載せたり、衝撃を与えたりして無理な力を加えない。傷つけない。加工をしない。

禁止

感電、ショート、火災の原因になります。

機器本体やガスの配管、排気口などに乗ったりして、無理な力を加えない

ケガや、機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。

禁止

ガス配管接続工事には専門の資格、技術が必要なため、機器の設置・移動・取り外しおよび付帯工事は、販売店または、もよりの東京ガスに依頼する

必ずおこなう

安全に使用していただくため。

【床暖房が設置されている場合】
床暖房の上で長時間座ったり、寝そべったりしない

禁止

低温やけどを起こすおそれがあります。
特に次のような方が使用される場合はまわりの方が注意してあげることが必要です。

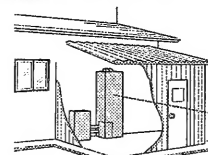
＊乳幼児・お年寄り・病人など自分の意思で体を動かせない方
＊疲労の激しいときやお酒・睡眠薬を飲まれた方
＊皮膚や皮膚感覚の弱い方

お湯の中にもぐったり、循環アダプターのフィルターを外して使用しない

禁止

運転中に体の一部や髪の毛などが吸い込まれて、おぼれたり、ケガをするおそれがあります。

増改築などで屋内状態にしない
(波板囲いなどをしない)

禁止

一酸化炭素中毒・火災の原因になります。

灯油、ガソリン、ベンジンなど、引火のおそれのある物を機器本体や排気口のまわりで使用しない

禁止

火災の原因になります。

スプレー缶やカセットこんろ用ボンベを、機器本体や排気口のまわりに置かない、使用しない

禁止

熱でスプレー缶の圧力が上がり、スプレー缶が爆発するおそれがあります。

外壁の塗装や増改築、家屋の修繕時などに機器本体(排気口)が養生シートで覆われた場合は、機器を使用しない

禁止

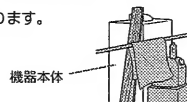
不完全燃焼や一酸化炭素中毒、爆発着火の原因になります。

お客さまご自身では絶対に分解したり、修理・改造はおこなわない

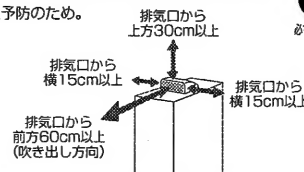
分解禁止

思わぬ事故や故障の原因になります。

燃えやすい物をまわりに置かない
(洗濯物、新聞紙、灯油など)

禁止

火災の原因になります。

燃えやすい物とは離す(樹木、木材、箱など)

火災予防のため。

必ずおこなう

⚠注意

発電ユニット(GEH-1011ARS-K)と組み合わせて使用する

必ずおこなう

それ以外の機器と組み合わせて使用すると、お湯の温度制御ができなくなり、やけどや機器の故障の原因になります。

必ずアースする

アースする

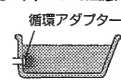
機器が故障した場合、感電の原因になります。
アースがされていない場合は、販売店または、もよりの東京ガスにご相談ください。

【電源プラグがある場合】
電源プラグは、コードを持たずに電源プラグを持って抜く

必ずおこなう

コードを持って抜くと、コードが破損し、発熱、火災、感電の原因になります。

ふろ自動・沸かし直し・たし湯中は、循環アダプターからあついお湯が出るので注意する

高温注意

機器の給気口がホコリ・ゴミなどでふさがっていないか確認する

必ずおこなう

不完全燃焼の原因になります。

子供を機器の周囲で遊ばせない

思わぬ事故の原因になります。

禁止

【配管カバーがある場合】
配管カバーを外した場合は、作業終了後、必ず元どおり正しく取り付ける(☞P10)

必ずおこなう

給湯、シャワー、おふろ、暖房以外の用途には使用しない

禁止

思わぬ事故を予防するため。

使用中や使用後しばらくは、排気口付近に触れない

接触禁止

やけど予防のため。

機器の点検・お手入れ・水抜きをする場合は、給湯スイッチ「切」にし、機器が冷えてからおこなう

必ずおこなう

貯湯タンクのお湯を排水する場合は、貯湯タンクのお湯を使いきるなど温度を下げてから排水する

やけど予防や排水配管の保護のため。

乾電池に関する注意(取り替え機器についてのお願い)

機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。もしお客さまで旧機器の処理をされる場合、乾電池を使用している機器は、乾電池を取り外してから正規の処理をしてください。

【床暖房が設置されている場合】
床暖房の上に電気カーペットを敷かない

禁止

床材の割れ、そり、すき間の原因になります。

床暖房に鋭利なものを落としたり、刺したり、くぎ打ちなどをしない

温水パイプが破損します。

必ずお守りください(安全上の注意)-3

お願い

雷が発生しはじめたら、すみやかに運転を停止し、専用ブレーカーを「切」にする

ぬれた手でさわらない(感電のおそれがあります)

雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。
雷がやんだあとは専用ブレーカーを「入」にし、日時が合っていることを確認してください。
※冬期は、専用ブレーカーを長時間「切」にすると凍結のおそれがあります。
※落雷被害に有効な火災保険へのご加入をおすすめします。

硫黄(イオウ)を含んだ入浴剤は使用しない

入浴剤・ふろがま洗浄剤・洗剤などを使用するときは、注意書きをよく読み、正しく使用する

入浴剤・ふろがま洗浄剤の種類によっては、機器の熱交換器を腐食させたり、ポンプの能力が低下する原因になるものがあります。
これらを使用して追いだきしたときに、異常音が出たり、追いだきできなくなる場合は、使用をやめてください。
ふろがま洗浄剤の使用に際しては、注意書きをよく読み、正しく使用してください。

温泉水、井戸水、地下水で使わない

水質によっては、機器内の配管に異物が付着したり、腐食して水漏れすることがあります。
この場合の修理は保証期間内でも有料になります。

機器や配管に長時間たまった水や、朝一番のお湯は飲まない、調理に使用しない、雑用水として使用する

飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず沸騰させる

・必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。
・あついお湯が出てくるまでの水(配管にたまっている水)は、雑用水としてお使いください。
・固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用せずただちに、販売店または、もよりの東京ガスへ点検を依頼してください。

浴槽の循環アダプターをタオルなどでふさがない穴に物を詰めない

おふろ沸かしができません。
機器の故障の原因になります。

浴槽の循環アダプターのフィルターはこまめに掃除する・正常に取り付けて使用する

機器の故障の原因になります。

断水時は運転を停止し、給湯栓を閉める

給湯栓を開けたままにしておくと、給水が復帰したときに水が流れっぱなしになります。

断水復帰後の使い始めのお湯は飲まない、調理に使用しない

断水したときは飲用や調理用に適さない水が配管にとどまることがあります。

断水復帰後は、給湯栓から充分水を流してから使用する

排気ガスが直接建物の外壁・窓・アルミサッシなどや、物置などの塗装品などに当たらないように設置する
増改築時も同様に注意する

ガラスが割れたり、変色したり、塗装がはがれたりする原因になります。

塀などを増設する場合は、機器の点検・修理に必要な空間を確保し、空気の流れが停滞しないように考慮する

塀などと機器との間に充分な空間がないと、機器の点検・修理に支障をきたす場合があります。
また、機器の周囲の空気の流れが停滞すると、燃焼不良になるおそれがあります。
(機器の修理・点検に必要な空間については、販売店または、もよりの東京ガスに確認してください)

機器のまわりはきれいにしておく

まわりが雑草、木くず、箱などで雑然としていると、機器の内部にゴキブリが侵入したりクモの巣がはったりして、機器の損傷や火災の原因になることがあります。

浴槽、洗面台はこまめに掃除する

湯あかが残っていると、水中に含まれるわずかな銅イオンと、せっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、青く変色することがあります。

給湯スイッチ「切」時にはお湯側から水を出さない

お湯を出すときには、給湯スイッチ「入」を確認してください。
給湯スイッチ「切」時にお湯側から長時間水を出すと熱交換器内に結露現象が発生し、不完全燃焼の原因になったり、電気部品の損傷の原因になる場合があります。
シングルレバー式混合水栓の場合は、レバーを完全に水側にセットしてから水を出してください。

機器本体の脚がボルトで確実に固定されているか確認する

固定されていないと、地震などのとき倒れる原因になります。

停電すると、運転が停止します

この機器の純正部品以外は使用しない

思わぬ事故の原因になります。

使用時の点火、使用後の消火を確認する

ガス事故防止のため。

業務用の用途では使用しない

この製品は家庭用ですので、業務用の用途で使用すると製品の寿命を著しく縮めます。この場合の修理は、保証期間内でも有料になります。

凍結による破損を予防する(☞P12～17)

暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、必要な処置をしてください。
凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

長期間使用しない場合(1か月以上)、必要な処置をする(☞P14～16)

凍結および万が一のガス漏れを防止するため。

積雪時には給気口・排気口の点検、除雪をする

雪により給気口・排気口がふさがれると不完全燃焼し、機器の故障の原因になることがあります。

お手入れや長期間使用しない場合(1か月以上)および凍結予防のために水抜きをおこなう以外は、専用ブレーカーを「切」にしない

自動的に凍結予防させるため。

【電源プラグがある場合】
お手入れや長期間使用しない場合(1か月以上)および凍結予防のために水抜きをおこなう以外は、電源プラグを抜かない

自動的に凍結予防させるため。
また、必要なとき以外に電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因になります。

取扱説明書
GFT-C11ARS-AWQ
GFT-C11BRS-AWQ
1104938110
1104938111198
01

初めてお使いになるときは

初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

1 【配管カバーがある場合】
ネジ(3か所または4か所)を外し、配管カバーを開ける

2 給水元栓を全開にする

3 給湯栓を開けて水が出ることを確認し、再度閉める

※水の出はじめに異音がしたり、流量が安定しない場合は、P16「再使用のとき」の操作をしてください。

(他の配管は省略しています)

4 ガス栓を全開にする

※配管カバーの形状・ネジの位置は、配管カバーの種類によって異なります。

5 【配管カバーがある場合】
配管カバーを元どおり取り付ける

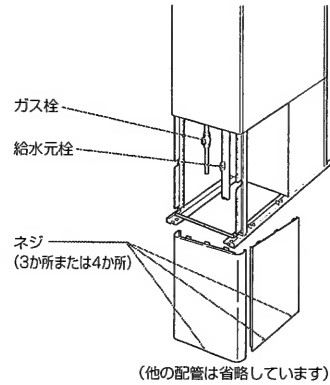
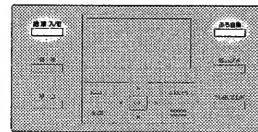
6 浴室リモコンでポンプの呼び水をする

1. 給湯スイッチを「入」にし、ふろ自動スイッチを「入」にする
2. 浴槽の循環アダプターから水が出てくることを確認する

循環アダプター

※リモコンに表示「110」が出たときは、給湯スイッチをいったん「切」にし、もう一度手順6の1. よりやり直してください。

3. ふろ自動スイッチを「切」にする
4. 機器を使用しない場合は、給湯スイッチを「切」にする

7 リモコンの日時が合っていることを確認する
(合っていない場合☞リモコン操作説明編の取扱説明書)

各部のなまえとはたらき(機器本体)

イラストは施工例です。配管の形状、給水元栓・ガス栓の位置など実際と異なります。
(この取扱説明書に説明がある部分のみ、記載しています)

※配管カバーの形状・ネジの位置は、配管カバーの種類によって異なります。

凍結による破損を予防する-1

お願い	凍結による破損を予防する	＊暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、以下をお読みいただき、必要な処置をしてください。 ＊凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

通常の寒さのとき (右の気象条件ほど厳しくないとき)	●低温注意報が発令されたとき ●外気温が極端に低いとき(－10℃以下) ●－10℃より高くても風があるとき	長期間(1か月以上)使用しないとき
↓	↓	↓
処置1 をする	**処置1＋2** または **処置3** をする ※上記の気象条件の場合は、処置1のみでは凍結予防できません	**処置3** をする
↓	↓	↓
P13	P13〜15	P14〜15

処置 1 凍結予防ヒーター＋ポンプ運転による方法

給湯スイッチ「入」「切」に関係なく、自動的に凍結予防します

貯湯ユニット / リモコン / 専用ブレーカー / 発電ユニット / 循環アダプター / 5cm以上 / 浴槽

専用ブレーカー(または電源プラグ)を必ず「入」にしておく

電源を「入」にしておくと、凍結予防ヒーターで機器内の凍結予防をします

給水・給湯配管や、給水元栓およびふろ配管などの凍結は予防できません。必ず保温材または電気ヒーターを巻くなどの地域に応じた処置をしてください。(わからないときは、販売店に確認してください)

浴槽の循環アダプターより5cm以上水を入れておく(残り湯があるときなど)

ポンプで浴槽の水を循環させ、ふろ配管の凍結予防をします
(燃焼はしませんが、ポンプの運転音(ウーン)と水が循環する音がします)

＊このときリモコンに[凍結予防]を表示します。
＊水がないとポンプが空運転し、機器から大きな音が発生する場合があります。

ガス栓を閉めない

暖房運転して暖房回路の水をあたため暖房回路の凍結予防をします

＊暖房放熱器の種類によっては、暖房回路の凍結予防ができない場合があります。
＊このときリモコンに[凍結予防]を表示します。(ポンプの運転音(ウーン)がします)

処置 2 通水による方法

1. リモコンの給湯スイッチ「切」にする
2. サーモスタット式混合水栓やシングルレバー式混合水栓の場合は、最高温度側にする
3. おふろの給湯栓を開き、少量の水を流したままにする

   少量の水とは・・・1分間に約400cc、太さ約4mm
4. 約30分後、流れる量を確認する

   流量が不安定になっている場合があります

＊機器だけでなく、給水・給湯配管、給水元栓なども同時に凍結予防できます。
＊結露現象予防として、給湯スイッチ「切」の状態で給湯栓から水を出さないようにお願いしていますが(☞P9)、凍結予防の処置の場合は問題ありません。
＊サーモスタット式混合水栓やシングルレバー式混合水栓の場合、再使用時の温度設定にご注意ください。やけど予防のため。
＊この処置をしても凍結するおそれのある場合には、P14〜15の手順で水抜きをおこなってください。

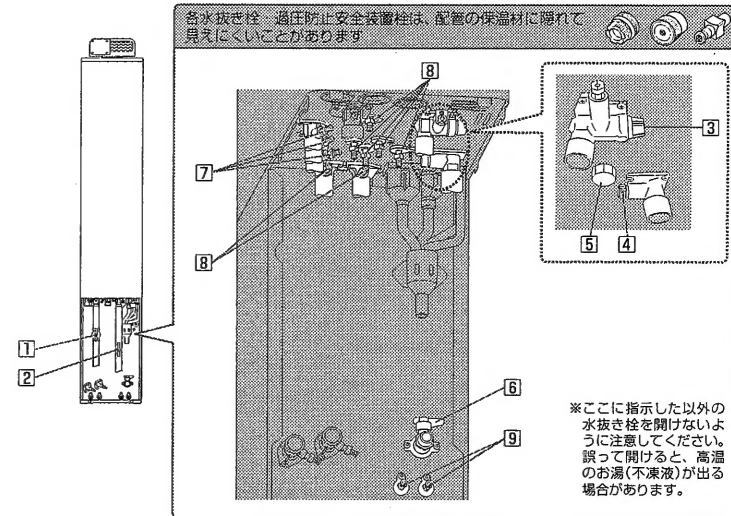
凍結による破損を予防する-2

処置 3 水抜きによる方法

⚠注意	貯湯タンクのお湯を排水する場合は、貯湯タンクのお湯を使いきるなど温度を下げてから排水する	やけど予防や排水配管の保護のため。

＊P15のイラストを参照してください。

	操作	お知らせ
準備	＊給湯スイッチを「入」にし、貯湯量表示で貯湯タンクのお湯の量を確認してください。 ・お湯がないとき→以下の操作をおこなってください。 ・お湯があるとき→貯湯タンクのお湯を使い切ってから、以下の操作をおこなってください。 ＊水抜き栓などからお湯（水）が出ますので、機器の下に容器などを置いて排水を受けてください。	
1	1. 発電ユニットのガス栓を閉める ※発電ユニットの取扱説明書をご覧ください。 2. 【配管カバーがある場合】配管カバーのネジを外し、配管カバーを開ける 3. 機器のガス栓①と給水元栓②を閉める	
2	浴槽の排水栓を開けておく	
3	1. リモコンの給湯スイッチを「切」にする 2. リモコンで「機器の水抜き」の設定をする（リモコンに【機器の水抜き中】を表示します）（☞リモコン操作説明編の取扱説明書） 3. 浴槽の循環アダプターから排水することを確認する	＊このあと、浴槽に水を流し込まないでください。 ＊水抜きを中止する場合は、給湯スイッチを「入」にするか、「機器の水抜き」をしない設定にしてください。 ＊水抜きの途中で専用ブレーカーを「切」にしないでください。 ＊「機器の水抜き」の設定をしてから約10分たつと、「ピピッ」とお知らせ音が鳴ります。（このお知らせ音が鳴るまでは手順8の操作はおこなわないでください）
4	すべての給湯栓を全開にする	
5	1. 水抜き栓③を左に回して開け、外す 2. 過圧防止安全装置④および水抜き栓⑤を左に回して開け、外す 3. 排水バルブ⑥を90度回して開ける	＊排水します。
6	機器のフロントカバーに貼ってあるラベルで、不凍液が入っているかどうか確認する ＊「不凍液が入っています」というラベルがある場合→手順8へ ＊上記以外の場合（不凍液が入っていない場合）→手順7,8へ	＊不凍液が入っていない場合、手順7,8で水抜きしますが、暖房放熱器や暖房配管の凍結予防はできません。

	操作	お知らせ
7	【不凍液が入っていない場合】 水抜き栓⑦（3か所）を左に回して開ける	＊排水します。
8	手順3の2.の操作から10分以上経過後（リモコンで「ピピッ」とお知らせ音が鳴ったあと）、水抜き栓⑧（7か所）を左に回して開け、排水し、約20分以上そのままにする	
9	専用ブレーカーを「切」にする ※専用ブレーカーは各家庭によって設置状態が異なります。	
10	完全に排水されたことを確認して、水抜き栓⑨（2か所）を左に回して開け、ゆるめる	
11	すべて排水されたことを確認したあと、すべての水抜き栓・過圧防止安全装置、排水バルブ、給湯栓を閉める 【配管カバーがある場合】配管カバーを元どおり取り付ける	

必要なとき

凍結による破損を予防する-3

◎ 再使用のとき ◎

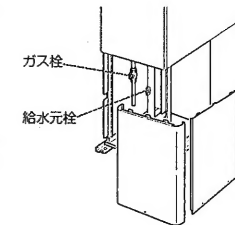
1. 【配管カバーがある場合】配管カバーのネジを外し、配管カバーを開ける。
2. すべての水抜き栓・過圧防止安全装置・排水バルブ・給湯栓が閉まっていることを確認する。
3. 給水元栓を開ける。
4. 専用ブレーカーを「入」にする。
5. 1)給湯スイッチが「切」であることを確認する。
   2)リモコンで「機器の水張り」の設定をする。(☞リモコン操作説明編の取扱説明書)
   (リモコンに[機器の水張り中]を表示します)
   ※浴槽の循環アダプターから水が出たり止まったりしますが、異常ではありません。
6. 5.の2)の操作から約20分以上経過後、[機器の水張り中]の表示が消えていることを確認する。
7. 給湯栓を開け、水が出ることを確認してから閉め、機器や配管から水漏れがないかよく確認する。
8. 発電ユニットと機器のガス栓を開ける。
9. 【配管カバーがある場合】配管カバーを元どおり取り付ける。

※通水後初めての暖房・ふろ使用で、リモコンに故障表示《032》《173》《543》《632》が出る場合
暖房放熱器側の運転と給湯スイッチをいったん「切」にし、給水元栓が開いていること・すべての水抜き栓が閉まっていることを確認し、専用ブレーカーを「切」にし、再度「入」にして再使用してください。

凍結してお湯(水)が出ないとき

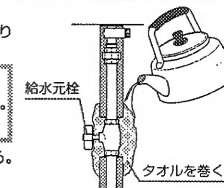
■給湯スイッチを「切」にする

＊「入」にしていると燃焼する場合があります。
＊気温の上昇により自然に解凍するまで待つことをおすすめします。

■すぐにお湯を使いたい場合は、以下の方法をお試しください

■ 給水元栓が凍結して回らない場合

1)タオルを給水元栓のまわりに巻く。
2)人肌程度(30～40℃)のぬるま湯を給水元栓に巻いたタオルにゆっくりかける。

注意
＊熱湯をかけると配管が破裂するおそれがあります。
＊機器の電気配線類にお湯がかからないように注意してください。
＊ガス栓とまちがえないように注意してください。

3)給水元栓が回る(水が流れる音がする)ようになったら、給湯栓を閉める。
4)タオルを外し、給水元栓のまわりについた水を乾いた布でふき取る。
5)今後凍結しにくいようにするため、給水元栓まわりに保温材をかぶせるなどの処置をする。(わからないときは、販売店に確認してください)

給水元栓
タオルを巻く

■ 給水元栓が回るのに水が出ない場合

給水元栓を必ず閉め、気温の上昇により自然に解凍するのを待つか、販売店または、もよりの東京ガスにご連絡ください。

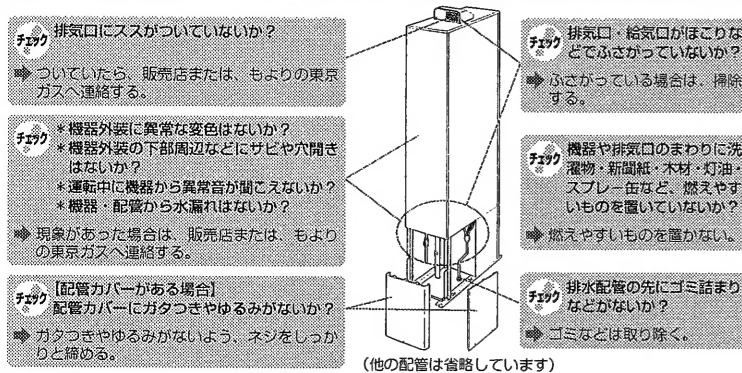
＊凍結した場合は、そのままでは絶対に使用しないでください。(暖房運転もしないでください)
機器の故障の原因となります。
＊給湯栓から水が出るようになっても、機器や配管から水漏れがないかよく確認のうえ使用してください。
＊この処置でガス栓を閉めている間は、ポンプの循環で暖房回路の凍結予防は保たれます。

日常の点検・お手入れのしかた-1

点検(定期的に)

⚠注意	機器の点検・お手入れをする場合は、給湯スイッチ「切」にし、機器が冷えてからおこなう 貯湯タンクのお湯を排水する場合は、貯湯タンクのお湯を使いきるなど温度を下げてから排水する
やけど予防や排水配管の保護のため。	

● 機器本体 ●

(他の配管は省略しています)

お手入れ(こまめに掃除)

● 浴槽の循環アダプターのフィルター ●

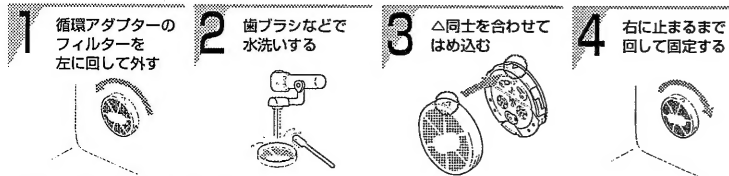
フィルターが詰まると、おふろの温度がご希望の温度にならないおそれがありますので、以下の方法で必ずこまめに掃除してください。

※給湯スイッチ「切」にしてからおこなってください。
※フィルターは必ず正常に取り付けて使用してください。外したままや、正常に取り付けられていない状態で使用すると、機器が故障することがあります。

1 循環アダプターのフィルターを左に回して外す

2 歯ブラシなどで水洗いする

3 △同士を合わせてはめ込む

4 右に止まるまで回して固定する

(循環アダプターの形状は、異なる場合があります)

お手入れ(定期的に)

⚠注意	機器の点検・お手入れをする場合は、給湯スイッチ「切」にし、機器が冷えてからおこなう 貯湯タンクのお湯を排水する場合は、貯湯タンクのお湯を使いきるなど温度を下げてから排水する
やけど予防や排水配管の保護のため。	

● 機器本体 ●

＊機器本体の外装の汚れは、ぬれた布で落としたあと充分水気をふき取ってください。
特に汚れのひどいときには、中性洗剤を使用してください。
＊海に近く潮風が当たりやすい地域の場合、機器に潮風が当たり、機器本体および配管接続部にサビが発生する場合があります。
サビがひどい場合は、機器本体内部への影響も考えられますので、点検(有料)をおすすめします。

● リモコン ●

リモコンの表面が汚れたときは、湿った布でふいてください。

お願い	リモコンの掃除には、塩素系のカビ洗浄剤や酸性の浴室用洗剤などを使用しない
変形する場合があります。	

お願い	台所リモコン・増設リモコンに、水しぶきをかけない、蒸気を当てない	お願い	浴室リモコン・防水型増設リモコンに故意に水をかけない
炊飯器、電気ポットなどに注意。 故障の原因になります。		防水型ですが、多量の水は故障の原因になります。	

必要なとき

● おふろの配管 ●

＊ポンプで浴槽の水を循環させるため、湯あかはたまりにくくなっていますが、雑菌などが気になる場合は市販のふろがま洗浄剤をお試しください。(ふろがま洗浄剤の説明書に従って正しく洗浄してください)
＊ふろ配管クリーンによって配管内の残り湯を押し出すことができます。(☞リモコン操作説明編の取扱説明書)

取扱説明書
GFT-C11ARS-AWQ GFT-C11BRS-AWQ
1104938111010 1104938111198
01

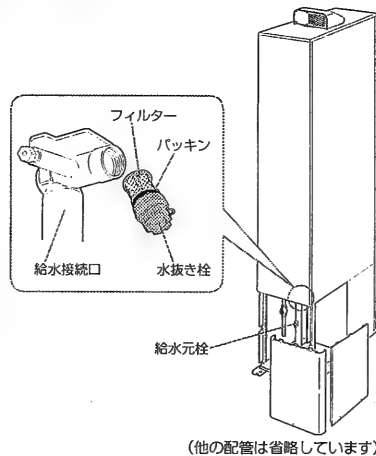
日常の点検・お手入れのしかた-2

● 水抜き栓のフィルター ●

水抜き栓のフィルターにゴミなどが詰まると、お湯の出が悪くなったりお湯にならない場合がありますので、以下の方法で掃除をしてください。

※お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、給湯スイッチ「切」にし、貯湯タンクのお湯を使いきるなど温度を下げてからおこなってください。（やけど予防のため）
※水抜き栓からお湯または水が出ますので、機器の下に容器などを置いて排水を受けてください。

1. 給水元栓を閉める。
2. すべての給湯栓を開ける。
3. 水抜き栓を左に回して外す。（※1）
4. フィルター部分を歯ブラシなどで水洗いする。（※2）
5. 元どおりに水抜き栓を取り付ける。
6. すべての給湯栓を閉める。
7. 給水元栓を開け、水抜き栓の周囲に水漏れがないことを確認する。

（※1） このとき水（湯）が出るので注意してください。
（※2） 水抜き栓からフィルターが外れた場合は、水抜き栓とフィルターの間のパッキンをなくさないように注意してください。

（他の配管は省略しています）

お手入れ（1年に1～3回程度）

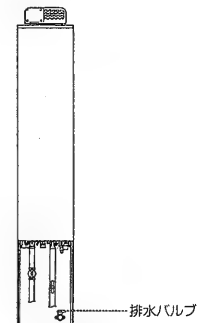
● 貯湯タンク ●

水道水に混じっていた泥やゴミなどが貯湯タンクに沈殿していることがあるため、貯湯タンクの水を入れ替え、沈殿物を流し出してください。

【1年に2～3回程度】

タンク
目盛2

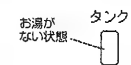
1. 給湯スイッチ「入」にし、貯湯量表示で貯湯タンクのお湯の量（目盛）を確認する。
   - ・目盛が2以下のとき→手順2以降をおこなってください。
   - ・目盛が3以上のとき→お湯を使って目盛を2以下にしてから手順2以降をおこなってください。

   ※目盛3以上で操作すると、熱いお湯が出ることがあります。
2. 専用ブレーカーを「切」にする。
3. 排水バルブを90度回して開ける。
4. 3の操作から約2分後、排水バルブを元の位置まで閉める。
   ※約2分以上たつと、熱いお湯が出ることがあります。
5. 専用ブレーカーを「入」にする。

（他の配管は省略しています）

【1年に1回程度】

⚠注意	貯湯タンクにお湯がある場合は、貯湯タンクのお湯を使いきるなど温度を下げてから排水する
やけど予防や排水配管の保護のため。	

お湯がない状態
タンク

1. 給湯スイッチ「入」にし、貯湯量表示で貯湯タンクのお湯の量（目盛）を確認する。
   - ・お湯がないとき→手順2以降をおこなってください。
   - ・お湯があるとき→貯湯タンクのお湯を使い切ってから、手順2以降をおこなってください。
2. P14～15「処置3 水抜きによる方法」の要領で、水抜きをする。
3. 水抜き後、P16「再使用のとき」の操作をする。

定期点検のおすすめ（有料）

ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。
なお、給水用具（逆流防止装置）に関しては、（社）日本水道協会発行の給水用具の維持管理指針に示されている定期点検の実施をおすすめします。時期は4～6年に1回程度をおすすめします。点検は販売店にご相談ください。

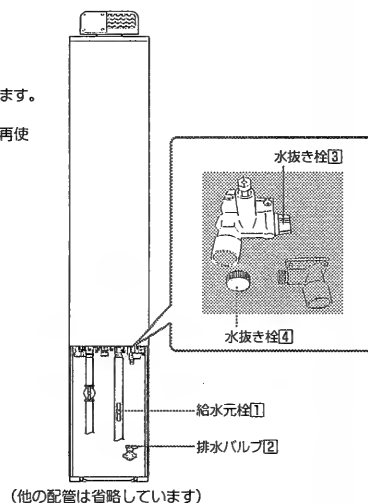
災害時などに貯湯タンクから水(お湯)を取り出す

⚠注意	貯湯タンクのお湯が高温になっているので、気をつけて作業する
やけど予防のため。	

断水時や災害時に、貯湯タンクの水(お湯)を取り出して雑用水として利用することができます。

1. 専用ブレーカーを「切」にする。
2. 給水元栓1を閉める。
3. 排水バルブ2に接続されている配管を取り外す。
4. 水抜き栓34を左に回して開け、外す。
5. 排水バルブ2を開けると、貯湯タンクの水(お湯)が出ます。

※再使用時は、上記の逆の手順をおこなったあと、P16「再使用のとき」の操作をおこなってから使用してください。

(他の配管は省略しています)

故障・異常かな?と思ったら-1

★リモコン操作説明編の取扱説明書の内容も併せてお読みください。

	こんなときは	こんなことが考えられます	処置
お湯・シャワー	給湯栓を開いても お湯が出てこない お湯にならない	ガス栓・給水元栓が全開になっていない。	ガス栓・給水元栓を全開に。
		断水している。	復旧を待つ。
		給湯栓が充分開いていない。	給湯栓を充分に開ける。
		ガスメーター(マイコンメーター)がガスを遮断している。	もよりの東京ガスに連絡を。
		水抜き栓のフィルターにゴミなどが詰まっている。	☞P20
		凍結している。	☞P17
		給湯スイッチ「切」になっている。	給湯スイッチ「入」に。
		夏場などの水温が高いときに、低温のお湯を少量出そうとすると、お湯になりません。	給湯温度を上げるか、給湯栓をもっと開いて使用する。
	お湯が出てくるまで 時間がかかる	機器から給湯栓まで距離があるためです。	異常ではありません。
	低温のお湯が出ない	給水元栓が全開になっていない。	給水元栓を全開に。
		給湯温度の設定が合っていない。	給湯温度を適温に設定する。
		夏場などの水温が高いときに低温のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなることがあります。	給湯栓をもっと開いて使用する。
		少量のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなることがあります。	もう少し給湯栓を開いて使用する。
	高温のお湯が出ない	ガス栓が全開になっていない。	ガス栓を全開に。
		給湯温度の設定が合っていない。	給湯温度を適温に設定する。
		【「お湯を使ったときのお湯はり(ふろ自動・たし湯)の一時中断」をしないように変更した場合】 お湯はり・たし湯中にお湯を使うと、ふろ温度のお湯が出ます。お湯はり・たし湯が終わっても、お湯の使用をいったんやめるまでは、高温のお湯は出ません。(給湯温度設定が高温のときのやけど予防のため) ※リモコンの表示はそのままです。 <例:給湯温度の設定60℃→お湯の温度40℃>	異常ではありません。
		初めてお使いになる場合や、専用ブレーカーを「切」にしたあとの再使用時、または停電後に初めてお使いになる場合は、安全性を保つため、高温のお湯が出にくい場合があります。	いったんすべての給湯栓を閉めて、再び開く。
	給湯栓を絞ると水になった	給湯栓から流れるお湯の量が1分間に約3.5L以下になったとき消火します。給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。	異常ではありません。
	給湯温度の調節ができない	操作しているリモコンが優先になっていない。	操作しているリモコンに優先を切り替える。

(つづく)

II－13

故障・異常かな？と思ったら-2

（つづき）

	こんなときは	こんなことが考えられます	処置
お湯・シャワー	給湯温度の設定がある温度以上、上げられない	給湯温度の上限を設定している。	給湯温度の上限の設定を確認する。
お湯・シャワー	お湯が白く濁って見える	水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、細かい泡となって出てくる現象で、無害なものです。	異常ではありません。
お湯・シャワー	給湯栓から出るお湯の量が変化する	お湯を使用中に、他の場所でお湯を使用したりふろ自動をすると、お湯の量が減る場合があります。また、水道の圧力や配管条件によっては、極端にお湯の量が減ったりいったん止まる場合があります。	異常ではありません。いずれもしばらくすると安定します。
		【「お湯を使ったときのお湯はり（ふろ自動・たし湯）の一時中断」をしないように変更した場合】ふろ自動やたし湯と同時にお湯を使うと、お湯の出が悪くなることがあります。	異常ではありません。
		給湯栓の種類によっては、初め多く出てその後安定するなど、出湯量が変化するものがあります。	異常ではありません。
お湯・シャワー	給湯栓から出るお湯の量が少ない	貯湯タンクにお湯がなくなったときに、暖房・追いだき（またはふろ自動）と同時にお湯を使うと、出湯量が少なくなることがあります。	異常ではありません。
おふろ	ふろ温度の設定がある温度以上、上げられない	ふろ温度の上限を設定している。	ふろ温度の上限の設定を確認する。
おふろ	設定したふろ温度どおりに沸き上がらない	お湯はり中にふろ温度を低く設定し直した場合、実際の沸き上がりの温度は設定温度より高くなることがあります。	異常ではありません。
おふろ	おふろのお湯がぬるい おふろのお湯があつい	ふろ温度の設定が合っていない。	ふろ温度を適温に設定する。
		浴槽の循環アダプターのフィルターにゴミや毛髪が詰まっている。	☞P18
		浴槽の循環アダプターのフィルターが確実に取り付けられていない。	確実に取り付ける。☞P18
		ふろ温度の上限を設定している。	ふろ温度の上限の設定を確認する。
おふろ	設定したふろ湯量どおりに沸き上がらない	ふろ湯量の設定が合っていない。	ふろ湯量を適量に設定する。
		浴槽の循環アダプターのフィルターにゴミや毛髪が詰まっている。	☞P18
		沸き上がらないうちに、何度もふろ自動スイッチの「切」「入」をくりかえすと、お湯があふれることがあります。	異常ではありません。
おふろ	浴槽の循環アダプターから「ボコ、ボコ」と空気の出る音がすることがある	おふろの配管などにたまった空気が出る音です。	異常ではありません。
おふろ	お湯はりの初めに水が出る	水温が高いときや、ふろ温度を低く設定しているときは、お湯はりの初めに水が出る場合があります。	異常ではありません。

	こんなときは	こんなことが考えられます	処置
おふろ	ふろ自動や追いだきの沸き上がりがいつもより遅い	ふろ自動と給湯を同時に使うと、お湯の出をよくするためにお湯はりを一時中断します。そのため、沸き上がりが遅くなります。	異常ではありません。「お湯を使ったときのお湯はり（ふろ自動・たし湯）の一時中断」をしないように設定する。
		貯湯タンクにお湯がなくなったときに、給湯・暖房と同時に追いだき（またはふろ自動）すると、追いだき時間が長くなることがあります。	いずれかの使用をやめると改善します。
		「貯湯利用追いだき」の設定を「入」にしている場合、「貯湯利用追いだき」がはたらくと、沸き上がりが遅くなります。	異常ではありません。「貯湯利用追いだき」を「切」にする。
おふろ	ふろ自動が途中で停止した	ふろ自動と給湯を同時に使うと、お湯の出をよくするためにお湯はりを一時中断します。そのため、ふろ自動が途中で停止します。	異常ではありません。「お湯を使ったときのお湯はり（ふろ自動・たし湯）の一時中断」をしないように設定する。
おふろ	ふろ自動や追いだきを始めるとにごったお湯が出る	ふろ配管クリーンをしていない場合、ふろ自動や追いだきを始めた直後、配管中の残り湯が若干混入します。特ににごり系の入浴剤を使用した場合は、目立つことがあります。	ふろ配管クリーンをする。
おふろ	浴槽の循環アダプターからお湯が出たり止まったりする	ふろ自動スイッチを押すと、残り湯の量を確認するためにポンプが作動し、しばらくは循環アダプターからお湯が出たり止まったりします。	異常ではありません。
おふろ	おふろを使用していないのに浴槽の循環アダプターからお湯（水）が出る	凍結予防のためポンプが作動し、配管に残っている水が循環アダプターから出る場合があります。	異常ではありません。
		浴槽のお湯（水）を排水中、自動ふろ配管クリーンがはたらくと、循環アダプターからお湯が出ます。	異常ではありません。
おふろ	浴槽の循環アダプターから出るお湯の温度が変化する	貯湯タンクにお湯がなくなったときに、給湯・暖房と同時に追いだき（またはふろ自動）して能力が下がった場合に、起こる現象です。	いずれかの使用をやめると改善します。
おふろ	追いだきができない 追いだきが途中で停止した	浴槽の循環アダプター上部より5cm以上、お湯（水）が入っていない。	確認する。
		ポンプの呼び水をしていない。	☞P10の手順6
		浴槽の循環アダプターのフィルターにゴミや毛髪が詰まっている。	☞P18
		断水している。（断水時は、浴槽にためていた残り湯の追いだきはできません）	復旧を待つ。
おふろ	追いだきしても ふろ温度が上がらない	ふろ温度の上限を設定している。	ふろ温度の上限の設定を確認する。

取扱説明書
GFT-C11ARS-AWQ
GFT-C11BRS-AWQ
110493811010
110493811198
01

故障・異常かな？と思ったら-3

	こんなときは	こんなことが考えられます	処置
暖房	暖房運転中、暖房放熱器が止まったり温度が下がったりする	給湯や追いだきと同時に使用すると、暖房能力が下がることがあります。 暖房放熱器の運転動作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。	いずれかの使用をやめると改善します。
	床面がなかなかあたたまらない	床仕上げ材の種類・外気温度・住宅構造などによって、あたたかくなるまでの時間は異なります。（目安：1時間程度）	異常ではありません。
		貯湯タンクにお湯がなくなったときに、給湯・追いだき（またはふろ自動）と同時に暖房して能力が下がった場合に、起こる現象です。	いずれかの使用をやめると改善します。
	床面のあたたかさが場所によって異なる	温水配管内に温水を循環させて床をあたためるしくみになっています。温水配管の通っているところと通っていないところでは、床面の温度に多少の差が生じます。	異常ではありません。
	床暖房の温度変更をしていないのに床面の温度が下がった	床暖房しはじめは、早く床面をあたためるために高温の温水を流し、ある程度時間がたつと、温水を一定の温度に下げます。	異常ではありません。
		貯湯タンクにお湯がなくなったときに、給湯・追いだき（またはふろ自動）と同時に暖房して能力が下がった場合に、起こる現象です。	いずれかの使用をやめると改善します。
	床暖房中に音がする	床暖房の熱によって、温水床暖房マットや床仕上げ材などが収縮・膨張するため発生する音、または温水の流れる音です。	異常ではありません。
	床暖房を使用していないのに床があたたまることがある	床暖房回路内にたまった空気を抜くために、約1か月ごとにポンプが作動します。このときに他の暖房端末（浴室暖房など）を使用していると、床の温度が一時的に多少上昇する可能性があります。	異常ではありません。
	床面の足ざわりが場所によって異なる	温水配管やその接続部などがあるため、床面の足ざわりが周囲と異なる場合があります。	異常ではありません。
	床面に凹凸や段差がある	温水床暖房マットを2枚以上併設しているときや、床仕上げ材と周辺の継ぎ合わせ部などには多少の凹凸があるため、光の当たり具合により目立つことがあります。	異常ではありません。
	床面の継ぎ目にすき間がある	暖房を使用することにより、乾燥して仕上げ材が収縮し、継ぎ目にわずかなすき間が生じる場合があります。	異常ではありません。
	床面が変色した	床仕上げ材に直射日光が長時間当たると、日焼けによる変色やひび割れが生じる場合があります。	カーテンやブラインドで日差しをさえぎる。
	浴室暖房乾燥機の温風の温度が変化したり低くなったりする 浴室暖房をしても浴室がなかなかあたたまらない	貯湯タンクにお湯がなくなったときに、給湯・追いだき（またはふろ自動）と同時に暖房して能力が下がった場合に、起こる現象です。	いずれかの使用をやめると改善します。

	こんなときは	こんなことが考えられます	処置
機器全般	寒い日に排気口から湯気が出る	冬に吐く息が白く見えるように排気ガス中の水蒸気が白く見えます。	異常ではありません。
		機器を使用していない場合でも、貯湯ユニット内の凍結予防時には、白い湯気が出ます。	異常ではありません。
	運転中に停止した	ガス栓・給水元栓が全開になっていない。	ガス栓・給水元栓を全開に。
		断水している。	復旧を待つ。
		給湯栓が充分開いていない。	給湯栓を充分に開ける。
		ガスメーター（マイコンメーター）がガスを遮断している。	もよりの東京ガスに連絡を。
	運転を停止しても、しばらくの間ファンの回転音（ブーン）がする 給湯スイッチを「入」「切」したり、給湯栓を開閉したり、機器の使用後しばらくするとモータが動く音（クックッ、クー）がする	再使用時の点火をより早くするため、また、再使用時にお湯の温度を早く安定させるために機器が作動している音です。	異常ではありません。
	ポンプの回転音（ウーン）がする	追いだき終了後、お湯をまぜるためにポンプがしばらく作動することがあります。	異常ではありません。
		ふろ予約時、予約時刻の1～2時間前に、残り湯チェックのためポンプが作動します。	異常ではありません。
		気温が下がると、凍結予防のためにポンプが作動します。	異常ではありません。
		長期間使用しない場合に、暖房回路内にたまった空気を抜き、次回使用するときに支障がないようにするためにポンプが作動します。（約1か月ごと）	異常ではありません。
	過圧防止安全装置（水抜き栓）から、お湯（水）が少しの間出ることがある	機器内に高い圧力が生じたとき、過圧防止安全装置のはたらきにより、過圧防止安全装置（水抜き栓）から水滴が落ちることがあります。	異常ではありません。
	水が青く見える 浴槽や洗面台が青く変色した	浴槽や洗面台が水中に含まれる微量の銅イオンと脂肪分（湯あか）により青く着色することがありますが、健康上問題ありません。	浴室用洗剤とスポンジでこまめに掃除することにより着色しにくくなります。
	排水配管先からお湯（水）が少しの間出ることがある	貯湯タンク内の水が沸き始めると水の体積が大きくなり、その分が排水配管先から出ますが、沸き上がると止まります。	異常ではありません。

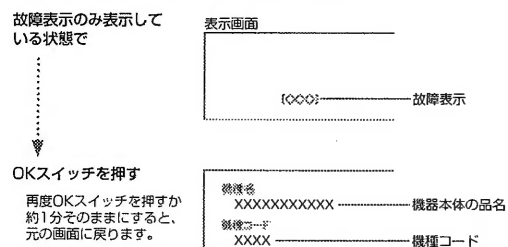
アフターサービスについて

サービスを依頼されるとき

P23～27の「故障・異常かな？と思ったら」を調べていただき、なお異常のあるときは、販売店または、もよりの東京ガスにご連絡ください。

● 連絡していただきたい内容 ●

品名 ……………………… GFT-C11ARS-AWQ, GFT-C11BRS-AWQ
お引き渡し日 ……………… 保証書をご覧ください
異常の状況 ………………… 故障表示など、できるだけくわしく
ご住所・ご氏名・電話番号
訪問ご希望日

● 故障表示のみ表示している場合は、機器本体の品名・機種コードをリモコンで確認できます ●

保証について

この取扱説明書には保証書がついています。
必ず販売店名・お引き渡し日などが記入されているのを確認してください。
保証書の内容をよくお読みになったあとは、大切に保管しておいてください。

無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後10年です。
なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

移設される場合

転居などで機器を移設されるときは、貯湯ユニット(銘板)に表示してあるガスの種類・電源(電圧・周波数)が移設先と合っているか必ずご確認ください。
不明のときは、移設先のガス事業者、販売店または、もよりの東京ガスにご相談ください。

ガスの種類の異なる地域へ移設されるときは、機器の改造・調整が必要です。この改造・調整に伴う費用は、保証期間中でも有料です。
※ガスの種類によっては改造・調整できない場合があります。

その他

BL認定品には、貯湯ユニットの前面にBLマークを表示しています。
BL認定品は、「優良住宅部品」「瑕疵保証・賠償責任保険付」です。
(財)ベターリビングお客様相談室の電話番号は「03-5211-0680」です。

取扱説明書
GFT-C11ARS-AWQ
GFT-C11BRS-AWQ
110493811010
110493811198
01

主な仕様

・本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
・出湯能力は湯水混合の計算値です。
　但し、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
・ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。

仕様表

項目		仕様
品名		GFT-C11ARS-AWQ, GFT-C11BRS-AWQ
型式名		SG-GTH2404AD
種類	給湯方式	先止め式
	設置方式	屋外設置形
点火方式		放電点火式
水圧	使用水圧〈MPa〉	0.1～1.0(1.0～10.0kgf/cm²)<推奨水圧 約0.15～0.5(約1.5～5.0kgf/cm²)>
	作動水圧〈kPa〉	10 (0.1kgf/cm²)
最低作動流量〈L/分〉		3.5
外形寸法〈mm〉		高さ1690×幅720×奥行300
質量(本体)〈kg〉		83
接続口径	ふろ(往き 戻り)	CCHジョイント
	暖房(往き 戻り)	CCHジョイント
	給湯	R3/4
	給水	R3/4
	ガス	R1/2
	オーバーフロー	呼び径13
	排熱	CCHジョイント
	排水	R1/2
電気関係	電源	AC100V(50/60Hz)
	消費電力(50/60Hz)〈W〉	290/290
		凍結予防ヒーター 151
	待機時消費電力〈W〉	2.7
湯温制御方式		電子式ガス比例制御方式
安全装置		凍結予防装置、過圧防止安全装置、漏電安全装置、沸騰防止装置、停電時安全装置、過電流防止装置、熱交換器漏水安全装置、立消え安全装置、空だき防止装置、空だき安全装置、負圧防止安全装置、過熱防止装置、ファン回転検出装置、断水検出装置、ポンプ回転検出装置、停電時高温出湯回避装置、残火安全装置、逆流防止装置

能力表

使用ガス		1時間当りのガス消費量(最大消費量)〈kW〉	出湯能力(最大時)〈L/分〉	
			水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
都市ガス	13A	50.0	24	15

取扱説明書
GFT-C11ARS-AWQ　110493811010
GFT-C11BRS-AWQ　110493811198
01